

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成30年5月31日(2018.5.31)

【公表番号】特表2017-520977(P2017-520977A)

【公表日】平成29年7月27日(2017.7.27)

【年通号数】公開・登録公報2017-028

【出願番号】特願2016-568649(P2016-568649)

【国際特許分類】

H 04 M 1/00 (2006.01)

【F I】

H 04 M 1/00 R

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月16日(2018.4.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

モデムを備えるユーザ機器（UE）において動作可能なワイヤレス通信の方法であって、

第1のサブスクリプションに関連する第1のアクティブ接続を確立することと、前記第1のアクティブ接続と同時に、第2のサブスクリプションに関連する第2のアクティブ接続を確立することと、

モデム情報、ここで前記モデム情報は、前記第1のアクティブ接続と前記第2のアクティブ接続との接続品質に対応する、を前記UEのオペレーティングシステムに前記モデムから与えることと、ここにおいて、

前記モデム情報は、モデムアプリケーションインターフェース（API）を介して与えられ、

前記オペレーティングシステムは、前記UE上で実行するユーザアプリケーションにサービスを与える、

前記モデム情報に基づいて前記オペレーティングシステムによって行われた決定に従って前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方を劣化させることによって、前記第1のアクティブ接続と前記第2のアクティブ接続との間の競合を緩和することと、ここにおいて、

前記モデム情報が、前記第1の接続または前記第2の接続に対応するエラーレート、チャネル品質、要求されたデータレート、利用可能なデータレート、受信電力、送信電力ヘッドルーム、またはラウンドトリップ時間のうちの少なくとも1つを備える、

を備える、方法。

【請求項2】

前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続に関する情報を前記UEのユーザに与えることと、

前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続のいずれが劣化されるべきかに関する前記ユーザからの入力を受信することと、

前記ユーザからの前記入力に従って、競合を緩和するための前記決定を行うこととをさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

競合を前記緩和することが、

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の一方に、他方に勝る優先度を付けること、

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方のデータをスロットリングすること、または

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方を保留にすることのうちの少なくとも1つを備える、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記第1のアクティブ接続が第1のボイス呼を備え、前記第2のアクティブ接続が第2のボイス呼を備え、

ここにおいて、競合を前記緩和することが、

アクティブボイス呼のデータレートよりも低いデータレートで送信すること、

周期トーンを送信すること、または

キープアライブデータを除くデータの送信を控えることによって前記第1のボイス呼または前記第2のボイス呼の一方を保留にすることを備える、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記第1のアクティブ接続がボイス呼を備え、前記第2のアクティブ接続がデータ呼を備え、

ここにおいて、競合を前記緩和することは、

前記データ呼が前記ボイス呼に対してフォアグラウンドアプリケーションである場合、前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続のそれぞれの接続品質に基づいて、前記データ呼をスロットリングするかまたは前記ボイス呼を保留にすることと、

前記ボイス呼が前記データ呼に対してフォアグラウンドアプリケーションである場合、前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続のそれぞれの接続品質に基づいて、前記データ呼を中断またはスロットリングすることとを備える、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記決定は、前記モデムによって行われ、前記UEのオペレーティングシステムまたはユーザのどちらによても行われない、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

ワイヤレス通信のためのユーザ機器(UE)であって、

第1のサブスクリプションに関連する第1のアクティブ接続を確立するための手段と、

前記第1のアクティブ接続と同時に、第2のサブスクリプションに関連する第2のアクティブ接続を確立するための手段と、

モデム情報、ここで前記モデム情報は、前記第1のアクティブ接続と前記第2のアクティブ接続との接続品質に対応する、を前記UEのオペレーティングシステムに前記モデムから与えるためのモデムと、ここにおいて、

前記モデム情報は、モデムアプリケーションインターフェース(API)を介して与えられ、

前記オペレーティングシステムは、前記UE上で実行するユーザアプリケーションにサービスを与える、

前記モデム情報に基づいて前記オペレーティングシステムによって行われた決定に従つて前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方を劣化させることによって、前記第1のアクティブ接続と前記第2のアクティブ接続との間の競合を緩和するための手段と、ここにおいて、前記モデム情報が、前記第1の接続または前記第2の接続に対応するエラーレート、チャネル品質、要求されたデータレート、利用可能なデータレート、受信電力、送信電力ヘッドルーム、またはラウンドトリップ時間のうちの少なくとも1つを備える、

を備える、ユーザ機器。

【請求項8】

前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続に関する情報を前記UEのユーザに与えるための手段と、

前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続のいずれが劣化されるべきかに関する前記ユーザからの入力を受信するための手段と、

前記ユーザからの前記入力に従って、競合を緩和するための前記決定を行うための手段とをさらに備える、請求項7に記載のユーザ機器。

【請求項9】

競合を緩和するための前記手段が、

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の一方に、他方に勝る優先度を付けるための手段、

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方のデータをスロットリングするための手段、または

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方を保留にするための手段のうちの少なくとも1つを備える、請求項7に記載のユーザ機器。

【請求項10】

前記第1のアクティブ接続が第1のボイス呼を備え、前記第2のアクティブ接続が第2のボイス呼を備え、

ここにおいて、競合を緩和するための前記手段が、

アクティブボイス呼のデータレートよりも低いデータレートで送信すること、

周期トーンを送信すること、または

キープアライブデータを除くデータの送信を控えることによって前記第1のボイス呼または前記第2のボイス呼の一方を保留にするように構成された、請求項7に記載のユーザ機器。

【請求項11】

前記第1のアクティブ接続がボイス呼を備え、前記第2のアクティブ接続がデータ呼を備え、

ここにおいて、競合を緩和するための前記手段は、

前記データ呼が前記ボイス呼に対してフォアグラウンドアプリケーションである場合、前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続のそれぞれの接続品質に基づいて、前記データ呼をスロットリングするかまたは前記ボイス呼を保留にすることと、

前記ボイス呼が前記データ呼に対してフォアグラウンドアプリケーションである場合、前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続のそれぞれの接続品質に基づいて、前記データ呼を中断またはスロットリングすることとを行うように構成された、請求項7に記載のユーザ機器。

【請求項12】

前記決定は、前記モデムによって行われ、前記UEのオペレーティングシステムまたはユーザのどちらによっても行われない、請求項7に記載のユーザ機器。

【請求項13】

第1のアクティブ接続を確立するための前記手段は、前記第1のサブスクリプションに関連する前記第1のアクティブ接続を確立するように構成された第1のサブスクリプションアクセス回路であり、

第2のアクティブ接続を確立するための前記手段は、前記第1のアクティブ接続と同時に、前記第2のアクティブ接続を確立するように構成された第2のサブスクリプションアクセス回路であり、ここにおいて、

緩和するための前記手段は、

前記モデム回路から前記モデム情報を受信することと、

前記決定に従って前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方を劣化させることによって、前記第1のアクティブ接続と前記第2のアクティブ接続との間の競合を緩和することとを行うように構成された少なくとも1つのプロセッサ、

を備える、請求項 7 ~ 12 のうちのいずれか一項に記載のユーザ機器。

【請求項 14】

ワイヤレス通信のためのユーザ機器（UE）に、請求項 1 ~ 6 のうちのいずれか一項に従った方法を実行させるためのコードを備えるコンピュータ可読媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0060】

[0075]以上の説明は、当業者が本明細書で説明した様々な態様を実施することができるようにするために提供したものである。これらの態様への様々な変更は当業者には容易に明らかであり、本明細書で定義した一般的原理は他の態様に適用され得る。したがって、特許請求の範囲は、本明細書に示された態様に限定されるものではなく、特許請求の範囲の言い回しに矛盾しない全範囲を与えられるべきであり、ここにおいて、単数形の要素への言及は、そのように明記されていない限り、「唯一無二の」を意味するものではなく、「1つまたは複数の」を意味するものである。別段に明記されていない限り、「いくつか(some)」という用語は1つまたは複数を指す。項目のリスト「のうちの少なくとも1つ」を指す句は、個々のメンバーを含む、それらの項目の任意の組合せを指す。一例として、「a、b、またはcのうちの少なくとも1つ」は、a、b、c、aおよびb、aおよびc、bおよびc、ならびにa、bおよびcを包含するものとする。当業者に知られている、または後に知られることになる、本開示全体にわたって説明した様々な態様の要素のすべての構造的および機能的均等物は、参照により本明細書に明確に組み込まれ、特許請求の範囲に包含されるものである。その上、本明細書で開示したいかなることとも、そのような開示が特許請求の範囲に明示的に具陳されているかどうかにかかわらず、公に供するものではない。いかなるクレーム要素も、その要素が「ための手段」という句を使用して明確に具陳されていない限り、または方法クレームの場合には、その要素が「ためのステップ」という句を使用して具陳されていない限り、米国特許法第112条第6項の規定の下で解釈されるべきではない。

以下に本願の出願当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

[C 1]

ユーザ機器（UE）において動作可能なワイヤレス通信の方法であって、
第1のサブスクリプションに関連する第1のアクティブ接続を確立することと、
前記第1のアクティブ接続と同時に、第2のサブスクリプションに関連する第2のアクティブ接続を確立することと、
前記第1のアクティブ接続と前記第2のアクティブ接続との接続品質に対応するモデム情報を前記UEのオペレーティングシステムに与えることと、
前記モデム情報に基づいて前記オペレーティングシステムによって行われた決定に従つて前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方を劣化させることによって、前記第1のアクティブ接続と前記第2のアクティブ接続との間の競合を緩和することとを備える、方法。

[C 2]

前記接続品質が、前記第1の接続または前記第2の接続に対応するエラーレート、チャネル品質、要求されたデータレート、利用可能なデータレート、受信電力、送信電力ヘッドルーム、またはラウンドトリップ時間のうちの少なくとも1つを備える、C 1に記載の方法。

[C 3]

前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続に関する情報を前記UEのユーザに与えることと、

前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続のいずれが劣化されるべき

かに関する前記ユーザからの入力を受信することと、

前記ユーザからの前記入力に従って、競合を緩和するための前記決定を行うこととをさらに備える、C 1 に記載の方法。

[C 4]

競合を前記緩和することが、

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の一方に、他方に勝る優先度を付けること、

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方のデータをスロットリングすること、または

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方を保留にすることのうちの少なくとも1つを備える、C 1 に記載の方法。

[C 5]

前記第1のアクティブ接続が第1のボイス呼を備え、前記第2のアクティブ接続が第2のボイス呼を備え、

ここにおいて、競合を前記緩和することが、

アクティブボイス呼のデータレートよりも低いデータレートで送信すること、

周期トーンを送信すること、または

キープアライブデータを除くデータの送信を控えることによって前記第1のボイス呼または前記第2のボイス呼の一方を保留にすることを備える、C 1 に記載の方法。

[C 6]

前記第1のアクティブ接続がボイス呼を備え、前記第2のアクティブ接続がデータ呼を備え、

ここにおいて、競合を前記緩和することは、

前記データ呼が前記ボイス呼に対してフォアグラウンドアプリケーションである場合、前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続のそれぞれの接続品質に基づいて、前記データ呼をスロットリングするかまたは前記ボイス呼を保留にすることと、

前記ボイス呼が前記データ呼に対してフォアグラウンドアプリケーションである場合、前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続のそれぞれの接続品質に基づいて、前記データ呼を中断またはスロットリングすることとを備える、C 1 に記載の方法。

[C 7]

ユーザ機器（UE）において動作可能なワイヤレス通信の方法であって、

第1のサブスクリプションに関連する第1のアクティブ接続を確立することと、

前記第1のアクティブ接続と同時に、第2のサブスクリプションに関連する第2のアクティブ接続を確立することと、

前記UEのモデムによって決定された前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続のそれぞれの接続品質に基づいて、前記モデムによって行われた決定に従って前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方を劣化させることによって、前記第1のアクティブ接続と前記第2のアクティブ接続との間の競合を緩和することとを備える、方法。

[C 8]

前記接続品質が、エラーレート、チャネル品質、要求されたデータレート、利用可能なデータレート、受信電力、送信電力ヘッドルーム、またはラウンドトリップ時間のうちの少なくとも1つを備える、C 7 に記載の方法。

[C 9]

競合を前記緩和することが、

前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続の一方に、他方に勝る優先度を付けること、

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方をスロットリングすること、または

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方を保留にすることのうちの少なくとも1つを備える、C7に記載の方法。

[C 1 0]

前記第1のアクティブ接続が第1のボイス呼を備え、前記第2のアクティブ接続が第2のボイス呼を備え、

ここにおいて、競合を前記緩和することが、

アクティブボイス呼のデータレートよりも低いデータレートで送信すること、

周期トーンを送信すること、または

キープアライブデータを除くデータの送信を控えることによって前記第1のボイス呼または前記第2のボイス呼の一方を保留にすることを備える、C7に記載の方法。

[C 1 1]

前記モデムによって行われた前記決定が、前記UEのオペレーティングシステムまたはユーザによって行われない、C7に記載の方法。

[C 1 2]

ワイヤレス通信のためのユーザ機器(UE)であって、

第1のサブスクリプションに関連する第1のアクティブ接続を確立するための手段と、前記第1のアクティブ接続と同時に、第2のサブスクリプションに関連する第2のアクティブ接続を確立するための手段と、

前記第1のアクティブ接続と前記第2のアクティブ接続との接続品質に対応するモデム情報を前記UEのオペレーティングシステムに与えるための手段と、

前記モデム情報に基づいて前記オペレーティングシステムによって行われた決定に従って前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方を劣化させることによって、前記第1のアクティブ接続と前記第2のアクティブ接続との間の競合を緩和するための手段とを備える、ユーザ機器。

[C 1 3]

前記接続品質が、前記第1の接続または前記第2の接続に対応するエラーレート、チャネル品質、要求されたデータレート、利用可能なデータレート、受信電力、送信電力ヘッドルーム、またはラウンドトリップ時間のうちの少なくとも1つを備える、C12に記載のユーザ機器。

[C 1 4]

前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続に関する情報を前記UEのユーザに与えるための手段と、

前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続のいずれが劣化されるべきかに関する前記ユーザからの入力を受信するための手段と、

前記ユーザからの前記入力に従って、競合を緩和するための前記決定を行うための手段とをさらに備える、C12に記載のユーザ機器。

[C 1 5]

競合を緩和するための前記手段が、

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の一方に、他方に勝る優先度を付けるための手段、

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方のデータをスロットリングするための手段、または

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方を保留にするための手段のうちの少なくとも1つを備える、C12に記載のユーザ機器。

[C 1 6]

前記第1のアクティブ接続が第1のボイス呼を備え、前記第2のアクティブ接続が第2のボイス呼を備え、

ここにおいて、競合を緩和するための前記手段が、

アクティブボイス呼のデータレートよりも低いデータレートで送信すること、

周期トーンを送信すること、または

キープアライブデータを除くデータの送信を控えることによって前記第1のボイス呼または前記第2のボイス呼の一方を保留にするように構成された、C12に記載のユーザ機器。

[C 1 7]

前記第1のアクティブ接続がボイス呼を備え、前記第2のアクティブ接続がデータ呼を備え、

ここにおいて、競合を緩和するための前記手段は、

前記データ呼が前記ボイス呼に対してフォアグラウンドアプリケーションである場合、前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続のそれぞれの接続品質に基づいて、前記データ呼をスロットリングするかまたは前記ボイス呼を保留にすることと、

前記ボイス呼が前記データ呼に対してフォアグラウンドアプリケーションである場合、前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続のそれぞれの接続品質に基づいて、前記データ呼を中断またはスロットリングすることを行いうように構成された、C12に記載のユーザ機器。

[C 1 8]

ワイヤレス通信のためのユーザ機器（UE）であって、

第1のサブスクリプションに関連する第1のアクティブ接続を確立するための手段と、

前記第1のアクティブ接続と同時に、第2のサブスクリプションに関連する第2のアクティブ接続を確立するための手段と、

前記UEのモデムによって決定された前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続のそれぞれの接続品質に基づいて、前記モデムによって行われた決定に従って前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方を劣化させることによって、前記第1のアクティブ接続と前記第2のアクティブ接続との間の競合を緩和するための手段とを備える、ユーザ機器。

[C 1 9]

前記接続品質が、エラーレート、チャネル品質、要求されたデータレート、利用可能なデータレート、受信電力、送信電力ヘッドルーム、またはラウンドトリップ時間のうちの少なくとも1つを備える、C18に記載のユーザ機器。

[C 2 0]

競合を緩和するための前記手段が、

前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続の一方に、他方に勝る優先度を付けるための手段、

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方をスロットリングするための手段、または

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方を保留にするための手段のうちの少なくとも1つを備える、C18に記載のユーザ機器。

[C 2 1]

前記第1のアクティブ接続が第1のボイス呼を備え、前記第2の接続が第2のボイス呼を備え、

ここにおいて、競合を緩和するための前記手段が、

アクティブボイス呼のデータレートよりも低いデータレートで送信すること、

周期トーンを送信すること、または

キープアライブデータを除くデータの送信を控えることによって前記第1のボイス呼または前記第2のボイス呼の一方を保留にするように構成された、C18に記載のユーザ機器。

[C 2 2]

前記モデムによって行われた前記決定が、前記UEのオペレーティングシステムまたはユーザによって行われない、C18に記載のユーザ機器。

[C 2 3]

ワイヤレス通信のためのユーザ機器（UE）であって、

第1のサブスクリプションに関連する第1のアクティブ接続を確立するように構成された第1のサブスクリプションアクセス回路と、

前記第1のアクティブ接続と同時に、第2のサブスクリプションに関連する第2のアクティブ接続を確立するように構成された第2のサブスクリプションアクセス回路と、

前記第1のアクティブ接続と前記第2のアクティブ接続との接続品質に対応するモデム情報を前記UEのオペレーティングシステムに与えるように構成されたモデム回路と、

前記モデム回路から前記モデム情報を受信することと、

前記モデム情報に基づいて前記オペレーティングシステムによって行われた決定に従って前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方を劣化させることによって、前記第1のアクティブ接続と前記第2のアクティブ接続との間の競合を緩和することを行なうように構成された少なくとも1つのプロセッサとを備える、ユーザ機器。

[C 2 4]

前記接続品質が、前記第1の接続または前記第2の接続に対応するエラーレート、チャネル品質、要求されたデータレート、利用可能なデータレート、受信電力、送信電力ヘッドルーム、またはラウンドトリップ時間のうちの少なくとも1つを備える、C 2 3に記載のユーザ機器。

[C 2 5]

前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続に関する情報を前記UEのユーザに与えることと、

前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続のいずれが劣化されるべきかに関する前記ユーザからの入力を受信することを行なうように構成されたユーザ制御回路をさらに備え、

ここにおいて、前記少なくとも1つのプロセッサが、

前記ユーザからの前記入力に従って、競合を緩和するための前記決定を行なうようにさらに構成された、C 2 3に記載のユーザ機器。

[C 2 6]

前記少なくとも1つのプロセッサが、

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の一方に、他方に勝る優先度を付けること、

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方のデータをスロットリングすること、または

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方を保留にすることのうちの少なくとも1つによって競合を緩和するようにさらに構成された、C 2 3に記載のユーザ機器。

[C 2 7]

前記第1のアクティブ接続が第1のボイス呼を備え、前記第2のアクティブ接続が第2のボイス呼を備え、

ここにおいて、前記少なくとも1つのプロセッサが、

アクティブボイス呼のデータレートよりも低いデータレートで送信すること、

周期トーンを送信すること、または

キープアライブデータを除くデータの送信を控えることによって前記第1のボイス呼または前記第2のボイス呼の一方を保留にするようにさらに構成された、C 2 3に記載のユーザ機器。

[C 2 8]

前記第1のアクティブ接続がボイス呼を備え、前記第2の接続がデータ呼を備え、

ここにおいて、前記少なくとも1つのプロセッサは、

前記データ呼が前記ボイス呼に対してフォアグラウンドアプリケーションである場合、前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続のそれぞれの接続品質に基づいて、前記データ呼をスロットリングするかまたは前記ボイス呼を保留にすることと、

前記ボイス呼が前記データ呼に対してフォアグラウンドアプリケーションである場合、前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続のそれぞれの接続品質に基づいて、前記データ呼を中断またはスロットリングすることを行うようにさらに構成された、C 2 3に記載のユーザ機器。

[C 2 9]

ワイヤレス通信のためのユーザ機器(UE)であって、

第1のサブスクリプションに関連する第1のアクティブ接続を確立するように構成された第1のサブスクリプションアクセス回路と、

前記第1のアクティブ接続と同時に、第2のサブスクリプションに関連する第2のアクティブ接続を確立するように構成された第2のサブスクリプションアクセス回路と、

モデム回路によって決定された前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続のそれぞれの接続品質に基づいて、前記モデム回路によって行われた決定に従って前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方を劣化させることによって、前記第1のアクティブ接続と前記第2のアクティブ接続との間の競合を緩和するように構成された前記モデム回路とを備える、ユーザ機器。

[C 3 0]

前記接続品質が、エラーレート、チャネル品質、要求されたデータレート、利用可能なデータレート、受信電力、送信電力ヘッドルーム、またはラウンドトリップ時間のうちの少なくとも1つを備える、C 2 9に記載のユーザ機器。

[C 3 1]

前記モデム回路が、

前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続の一方に、他方に勝る優先度を付けること、

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方をスロットリングすること、または

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方を保留にすることのうちの少なくとも1つによって競合を緩和するようにさらに構成された、C 2 9に記載のユーザ機器。

[C 3 2]

前記第1のアクティブ接続が第1のボイス呼を備え、前記第2の接続が第2のボイス呼を備え、

ここにおいて、前記モデム回路が、

アクティブボイス呼のデータレートよりも低いデータレートで送信すること、

周期トーンを送信すること、または

キープアライブデータを除くデータの送信を控えることによって前記第1のボイス呼または前記第2のボイス呼の一方を保留にするようにさらに構成された、C 2 9に記載のユーザ機器。

[C 3 3]

前記モデム回路によって行われた前記決定が、前記UEのオペレーティングシステムまたはユーザによって行われない、C 2 9に記載のユーザ機器。

[C 3 4]

ワイヤレス通信のためのユーザ機器(UE)に、

第1のサブスクリプションに関連する第1のアクティブ接続を確立することと、

前記第1のアクティブ接続と同時に、第2のサブスクリプションに関連する第2のアクティブ接続を確立することと、

前記第1のアクティブ接続と前記第2のアクティブ接続との接続品質に対応するモデム情報を前記UEのオペレーティングシステムに与えることと、

前記モデム情報に基づいて前記オペレーティングシステムによって行われた決定に従って前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方を劣化させることによって、前記第1のアクティブ接続と前記第2のアクティブ接続との間の競合

を緩和することとを行わせるためのコードを備えるコンピュータ可読媒体。

[C 3 5]

前記接続品質が、前記第1の接続または前記第2の接続に対応するエラーレート、チャネル品質、要求されたデータレート、利用可能なデータレート、受信電力、送信電力ヘッドルーム、またはラウンドトリップ時間のうちの少なくとも1つを備える、C 3 4に記載のコンピュータ可読媒体。

[C 3 6]

前記コードが、前記UEに、
前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続に関する情報を前記UEのユーザに与えることと、

前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続のいずれが劣化されるべきかに関する前記ユーザからの入力を受信することと、

前記ユーザからの前記入力に従って、競合を緩和するための前記決定を行うこととをさらに行わせる、C 3 4に記載のコンピュータ可読媒体。

[C 3 7]

前記コードが、前記UEに、
前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の一方に、他方に勝る優先度を付けること、

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方のデータをスロットリングすること、または

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方を保留にすることのうちの少なくとも1つによって競合を緩和することをさらに行わせる、C 3 4に記載のコンピュータ可読媒体。

[C 3 8]

前記第1のアクティブ接続が第1のボイス呼を備え、前記第2のアクティブ接続が第2のボイス呼を備え、

ここにおいて、前記コードが、前記UEに、
アクティブボイス呼のデータレートよりも低いデータレートで送信すること、
周期トーンを送信すること、または

キープアライブデータを除くデータの送信を控えることによって前記第1のボイス呼または前記第2のボイス呼の一方を保留にすることをさらに行わせる、C 3 4に記載のコンピュータ可読媒体。

[C 3 9]

前記第1のアクティブ接続がボイス呼を備え、前記第2のアクティブ接続がデータ呼を備え、

ここにおいて、前記コードは、前記UEに、
前記データ呼が前記ボイス呼に対してフォアグラウンドアプリケーションである場合、前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続のそれぞれの接続品質に基づいて、前記データ呼をスロットリングするかまたは前記ボイス呼を保留にすることと、

前記ボイス呼が前記データ呼に対してフォアグラウンドアプリケーションである場合、前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続のそれぞれの接続品質に基づいて、前記データ呼を中断またはスロットリングすることとをさらに行わせる、C 3 4に記載のコンピュータ可読媒体。

[C 4 0]

ワイヤレス通信のためのユーザ機器(UE)に、
第1のサブスクリプションに関連する第1のアクティブ接続を確立することと、
前記第1のアクティブ接続と同時に、第2のサブスクリプションに関連する第2のアクティブ接続を確立することと、
前記UEのモデムによって決定された前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続のそれぞれの接続品質に基づいて、前記モデムによって行われた決定に従って

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方を劣化させることによって、前記第1のアクティブ接続と前記第2のアクティブ接続との間の競合を緩和することを行わせるためのコードを備えるコンピュータ可読媒体。

[C 4 1]

前記接続品質が、エラーレート、チャネル品質、要求されたデータレート、利用可能なデータレート、受信電力、送信電力ヘッドルーム、またはラウンドトリップ時間のうちの少なくとも1つを備える、C 4 0 に記載のコンピュータ可読媒体。

[C 4 2]

前記コードが、前記UEに、

前記第1のアクティブ接続および前記第2のアクティブ接続の一方に、他方に勝る優先度を付けること、

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方をスロットリングすること、または

前記第1のアクティブ接続または前記第2のアクティブ接続の少なくとも一方を保留にすることのうちの少なくとも1つによって競合を緩和することを行わせる、C 4 0 に記載のコンピュータ可読媒体。

[C 4 3]

前記第1のアクティブ接続が第1のボイス呼を備え、前記第2のアクティブ接続が第2のボイス呼を備え、

ここにおいて、前記コードが、前記UEに、

アクティブボイス呼のデータレートよりも低いデータレートで送信すること、

周期トーンを送信すること、または

キープアライブデータを除くデータの送信を控えることによって前記第1のボイス呼または前記第2のボイス呼の一方を保留にすることを行わせる、C 4 0 に記載のコンピュータ可読媒体。

[C 4 4]

前記モデムによって行われた前記決定が、前記UEのオペレーティングシステムまたはユーザによって行われない、C 4 0 に記載のコンピュータ可読媒体。